

天寿荘だより



令和 6年 2月号 No.396



【立春】が過ぎ暦の上では春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続
き、ポカポカの陽射しが待ち遠しい季節となりました。梅の花のつ
ぼみもふくらみ始め春の訪れを感じている今日、このごろですが寒
い日には湯たんぽやカイロを利用する機会も多いので今月は「低
温やけど」についてお知らせします。



【12月の活動件数 100件】

●申請手続き代行

- ・配食サービス・見守り事業 0件
- ・生活管理指導員派遣 0件
- ・生活管理短期宿泊 0件
- ・緊急通報システム 0件
- ・紙おむつ支給申請 0件

●訪問・相談業務

- ・高齢者実態把握 7件
- ・医療・介護に関すること 91件
- ・その他 2件

介護や生活の上でお困りのことがあれば、
いつでもご相談ください。

天寿荘 電話74-3100
天寿荘在宅介護支援センター 直通74-4818
坂井賢一 江口千昭 鷲崎秀子 松岡小織





天寿荘居宅介護支援サービス事業所便り

は つ ら つ

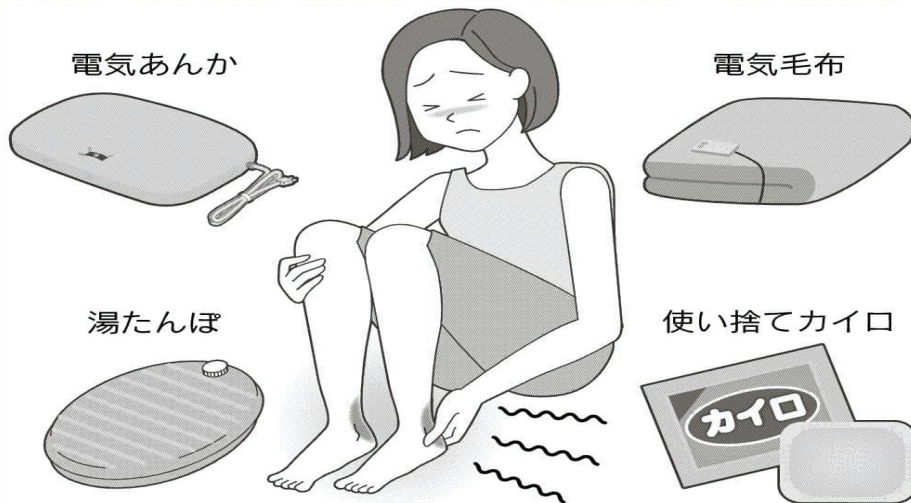


令和 6年 2月号 No.203

今月は寒い季節に大活躍する電気毛布、湯たんぽやカイロに皮膚が直接、数分から数時間にわたって触れ続ける事で起こる【低温やけど】についてのお知らせです。

【低温やけど】は熱湯や火などに触れて起こる高温でのやけどと違い、皮膚がじわじわとダメージを受ける為、気が付かないうちにやけどをした状態になり、気がついた時にはかなりひどくなっていたと言う事も多い為、赤みや痛みが出てきた時は早めに病院に行く事も必要です。

低温やけどにご用心



比較的低い温度でも、長時間触れると低温やけどになる危険性がある

44度 3～4時間

46度 30分～1時間

50度 2～3分

製品評価技術基盤機構(NITE)に通知された低温やけど事故の原因のうち、特に多かったもの

Ⅱ度～Ⅲ度のやけどのことも

診断	Ⅰ度	Ⅱ度	Ⅲ度
	「表皮熱傷」	「真皮熱傷」	「皮下熱傷」
傷の深さと症状など	皮膚が赤くなってひりひりする。腫れるが、数日で治癒する	水ぶくれができ、皮膚が白っぽくなることも。重症例では、外科的治療が必要に	皮膚が白っぽくなり、水ぶくれはできないことが多い。植皮など高度な外科処置が必要